



一般・特別会計当初予算…P2～P3
補正予算他……………P6～P9

特別・常任委員会等……P4～P5
一般質問……………P10～P15



みなさん！高鍋町で水中に生きる動植物の観察をし、花木や作物を育てて収穫の喜びを体験する、そんな自然の営みや楽しみを知っている子供達の団体がある事をご存じですか？

【高鍋町みどりの少年団の歴史】

＊みどりの少年団とは、国土緑化運動に端を発し1950年（昭和25年）以降、毎年春に開催される、全国植樹祭の中心的役割を担っています。高鍋町では、平成14年11月1日に設立され、その活動は多岐にわたります。

子供の頃からこの活動を通して町にある自然を知りながら、経験・体験することは、町の未来にとっても大きな財産となり、その子供達は貴重な人財になってくれることでしょう。

『本当に素晴らしい活動です！』



【水中の動植物の観察風景】



【タカナベカイドウの苗づくりの様子】

編集後記

弥生3月を迎え、令和7年第1回定例会が開催されました。今議会は、新年度予算を決める大切な議会です。

各常任委員会では、執行部より予算内容の詳細についての詳しい説明があり、それに対して各議員から様々な質問が寄せられ、新年度予算は可決されました。

また、今年度も、高鍋高校の生徒さんが授業の一環として、議会の傍聴に来ていただきました。高校生の傍聴は、議場の雰囲気を一変し、各議員も真剣み溢れる姿で議会に臨んでいました。

多くの方に傍聴されることは、こんなにも議員としての責任を肌で感じ、心に刻む事でき、これからの高鍋町の発展のため、各課題へ挑戦する力を頂けた、そんな議会となりました。皆さん本当にありがとうございました。

（加藤秀文 記）

議会広報編集特別委員会

委員長 児玉秀人 委員 森崎英明
副委員長 榎原富子 橋 重文
森 弘道 加藤秀文

（表紙写真）
高鍋町みどりの少年団の様子

令和7年度 一般会計当初予算

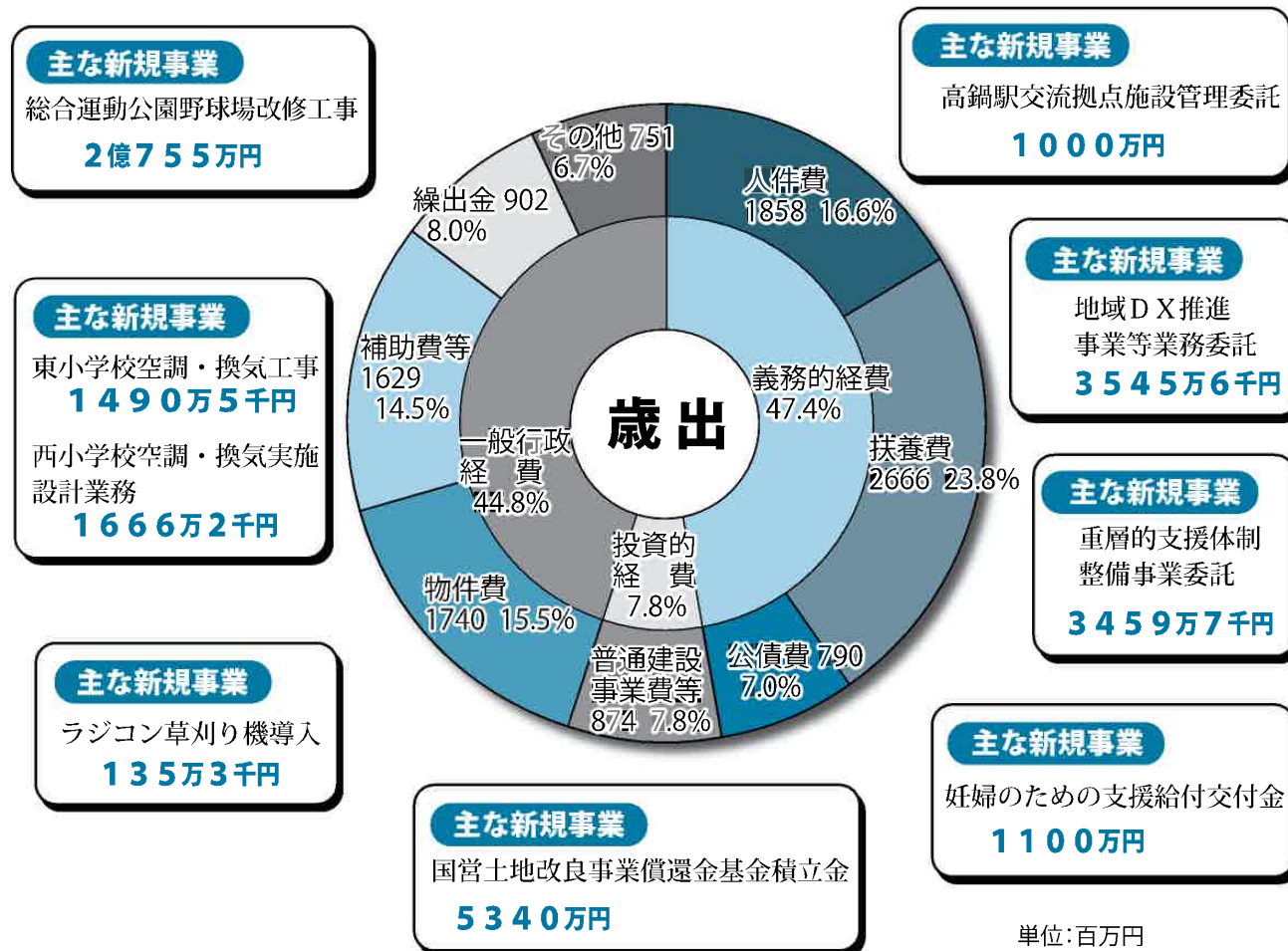
第1回定例会が3月3日に開会し、17日に閉会しました。今定例会では、報告1件・人権擁護委員の一般会計予算・特別会計等予算8件・発議1件の32件が提出され、原案通り可決しました。なお、一般

112億1000万円

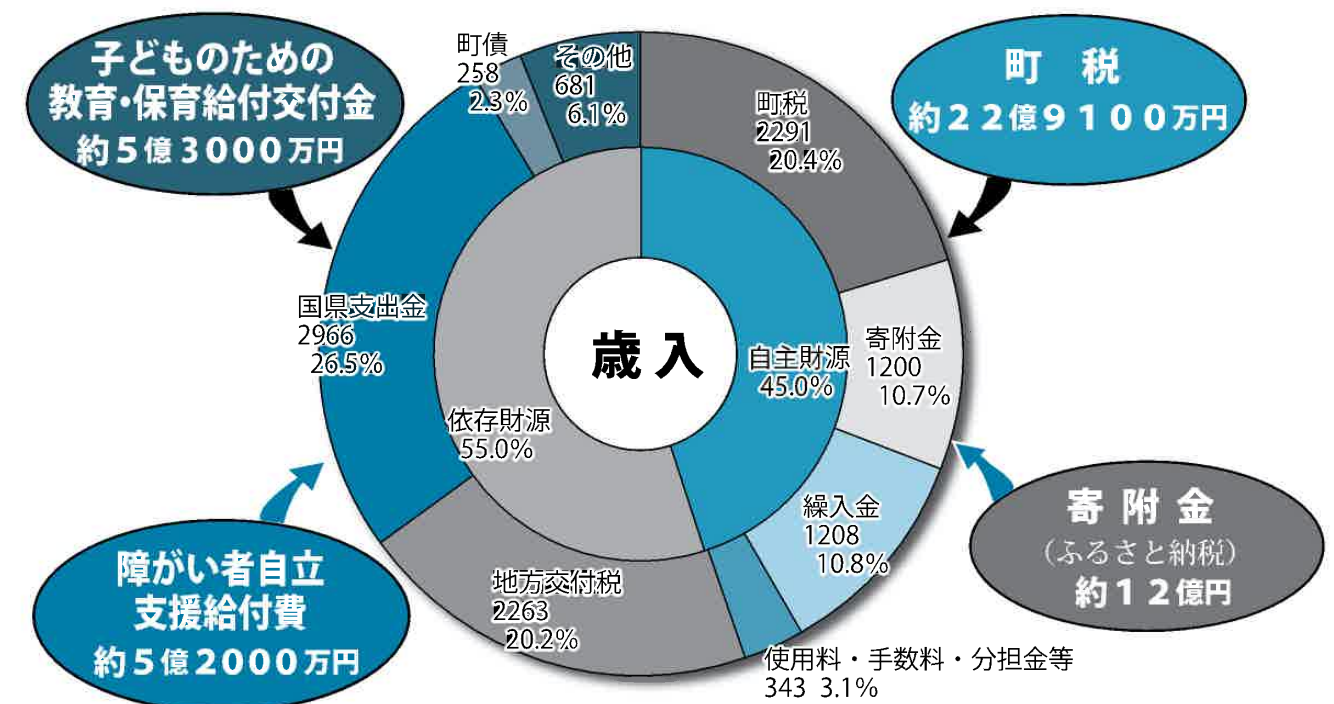
(前年度比約6800万円増)

推薦についての諮問4件・令和6年度補正予算4件・条例の一部改正10件、制定1件・令和7年度会計予算は町長選挙後のために骨格予算になっています。

一般会計予算 歳出



一般会計予算 歳入



令和7年度 特別会計等予算

○国民健康保険	23億6368万8000円
○介護認定審査会	986万6000円
○一ツ瀬川雑用水管理事業	2034万7000円
○水道事業 収益的収入	5億4074万8000円
資本的収入	1億8153万2000円

○後期高齢者医療	6億4373万6000円
○介護保険	19億7138万6000円
○西都児湯固定資産評価審査委員会	18万1000円
○下水道事業 収益的収入	3億3155万7000円
資本的収入	8526万7000円

◆ 特別委員会審査 ◆

特別会計予算及び条例審査

◆ 令和7年度高鍋町国民健康保険特別会計予算
疾病予防で、若年健診の適用年齢を19歳から16歳に引き下げ、受診率アップを図ることとした。また、令和7年度から特定保健指導未利用者対策として、勧奨通知やラインを用いた生活習慣改善プログラム事業に取り組み。

◆ 令和7年度高鍋町介護保険特別会計予算
地域包括支援センター運営事業及び生活支援体制整備事業は、重層的支援体制整備事業に統一し、今年度から一般会計で計上している。また、健康状態が不明な高齢者を把握するため、データベースからレセプトのない方を絞り込み、高齢者宅を訪問し対応している。

◆ 令和7年度高鍋町一ツ瀬川雑用水管理事業特別会計予算
人件費の増額に伴い、会計年度任用職員の人件費2分の1を一般会計から繰り入れることにしているが、今後開催される一ツ瀬川雑用水管理連絡調整協議会の場で、費用負担の方向性を検討してもらう。

◆ 令和7年度高鍋町水道事業会計予算
竹嶋浄水場の更新事業は、国からの補助金と交付金を組み合わせて経営への影響軽減を図っていきたい。少なくとも事業期間中の12年度までは水道料金改定はしなくても大丈夫と判断している。

◆ 令和7年度高鍋町下水道事業会計予算
埼玉県で道路陥没事故が発生したが、高鍋町の布設年数は比較的新しく、管の口径も小さいので、陥没事故は起こり得ないと考えている。

◆ 常任委員会審査 ◆ (本会議から付託された、議案や請願などについて審査を行います)

総務厚生常任委員会

◆ 高鍋町行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用に関する条例の一部改正について
マイナンバー制度を活用した関係機関が、それぞれ保有する個人情報とのオンラインによる提供及び取得、いわゆる「情報連携が可能な事務及び情報の範囲」について、「新たな事務に迅速に対応できるようにするために、これまで法律で定めていたものを省令により定める事とする」と改正されたため。

◆ 令和7年度高鍋町一般会計予算

◆ 西都児湯消費生活相談センター事業について
通信販売に関するトラブルが増加する一方SNS型投資詐欺や、ロマンス詐欺などによる被害額も懸念されている。消費生活に関する多様な相談に対し、適切な助言、あつせん、啓発事業を強化する。

◆ 予防接種事業費増額について
新型コロナウイルス、带状疱疹の定期接種化及びHPVの接種者が増加傾向にある事により予防接種を行うことで免疫機能を強化し、感染症の発症や重症化予防を目的とする。

◆ 防災行政無線放送施設設置工事について
防災無線の維持管理、各種防災対策訓練経費及び情報伝達体制整備事業等の災害対策に関する経費。老朽化による防災無線機の更新に併せて追加機能を図るための経費を新規計上している。

追加する機能
① 防災アプリ
(スマートフォンに戸別受信機能機能を持たせる)
② 音声合成装置(女性の音声に男性の音声を追加)
③ 落雷破損回避及び落雷抑制型避雷針設置。

文教産業建設常任委員会

◆ 令和7年度高鍋町一般会計予算

◆ 日本遺産南国宮崎の古墳景観活用協議会事業について
本町は、宮崎市、西都市、新富町で構成される「日本遺産南国宮崎の古墳景観活用協議会」に令和3年7月に追加認定。この日本遺産をテーマに様々なイベントやプログラムを展開し、地域の特性や魅力を発信、交流を深めることを目的に日本遺産フェスティバルを毎年持ち回りで開催。令和8年度の開催地が宮崎に決定している。

◆ 浚渫等の維持管理作業について

都市下水路の断面を阻害する堆積土砂の撤去などの維持管理を複数年のローテーションで計画的な浚渫等作業費用を計上。

◆ 高鍋総合運動公園野球場の整備について

令和9年度に開催される宮崎国民スポーツ大会の軟式野球競技の会場となる高鍋総合運動公園野球場の整備に関する費用を計上。

◆ 防衛施設周辺道路改修等事業について

令和7年度(令和8年3月)に完了予定の神祭野坂を含む町道茂広毛平付・高岡線の道路改良工事業費を計上。

◆ 児童生徒用タブレットパソコン更新について

令和2年度に導入した児童生徒用タブレットパソコン更新費用を計上。

◆ 一ツ瀬川土地改良事業費について

現在、一ツ瀬川土地改良事業の施設更新作業が行われており、この事業が令和14年度の完了目標となっている。この完了後に、国営事業費の負担金を国に納めることとなっていることから、一ツ瀬川土地改良事業費として、国営土地改良事業償還基金積立金を計上。

人事

◆ 副町長
固定資産評価員



早瀬 哲郎氏 (新任)

人権擁護委員

岩 永 修 一 氏
長谷川 ゆり子 氏
河 野 恵 子 氏
橋 口 清 和 氏

総括質疑

◆ 令和6年度高鍋町一般会計補正予算

問 債務負担行為補正の要因は何か。

答 今年度途中から、デジタルラボたかなべに委託している地域DX推進事業を次年度も行うため。

問 補正の減額の主な要因は何か。

答 ふるさと納税事業に係る実績見込みに基づく減額の他、入札残や経費節減等によるもの。

問 ふるさと納税が伸びない理由は。

答 ふるさと納税は前年度を超えているが、目標に達していない。要因は競争が激しくなっているため、それに伴い寄附先の選択肢が多様化していることなど。

問 物価高騰対策について、露地、ハウス等への助成はないのか。

答 農業資材、肥料、家畜飼料等の価格高騰による営農継続を支援する目的で物価高騰対策農畜産業支援補助金を考えている。

◆ 国民健康保険特別会計補正予算

問 特定健診の目標と実績は。

答 最終的な目標値は国が示す60%であるが、令和6年度の目標値としては42・5%。2月の受診率38・1%である。



オニバスの生息域が狭まっている…！

オニバスの保護

文教産業建設常任委員会



令和6年度 補正予算



○一般会計 6億8598万1千円 減額
総額 118億2658万7千円

要因は
寄付金 15億313万4千円 から 11億1658万3千円になったため

○国民健康保険特別会計 3038万1千円 増額
総額 23億9635万6千円

○後期高齢者医療特別会計 596万5千円 減額
総額 6億2345万3千円

○介護保険特別会計 2万2千円 増額
総額 20億3381万円

条例の一部改正（保育所に関する主なもの）

高鍋町地域型保育事業の設備及び運営に関する基準を定める条例について

（食事の提供の特例）

（2）当該地域型保育事業所又はその他の施設、保健所、町等の栄養士により、献立等についての栄養の観点からの指導が受けられる体制にある等栄養士による必要な配慮が行われること。

↓ 管理栄養士が追加されました。

（2）当該地域型保育事業所又はその他の施設、保健所、町等の栄養士又は管理栄養士により、献立等についての栄養の観点からの指導が受けられる体制にある等栄養士又は管理栄養士による必要な配慮が行われること。

（職員）

（3）満3歳以上満4歳に満たない児童 おおむね20人につき1人

↓ 15人につき1人に改正

（3）満3歳以上満4歳に満たない児童 おおむね15人につき1人

（4）満4歳以上の児童 おおむね30人につき1人

↓ 25人につき1人に改正

（4）満4歳以上の児童 おおむね25人につき1人

令和7年 第1回定例会 可否表

件名	(○賛成 ×反対 欠席) ※議長は採決に加わりません															
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
	日高正則	森崎英明	橋重文	春成勇	兒玉秀人	中村末子	永友良和	森弘道	加藤秀文	櫻原富子	松岡信博	結方直樹	田中義基	古川誠		
議案 3 令和6年度高鍋町一般会計補正予算（第12号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○			
議案 18 令和7年度高鍋町一般会計予算	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×	○	○			

以下の議案は、全員賛成で可決されました。

諮問 1	人権擁護委員の推薦について
諮問 2	人権擁護委員の推薦について
諮問 3	人権擁護委員の推薦について
諮問 4	人権擁護委員の推薦について
発議 1	高鍋町議会の個人情報の保護に関する条例の一部改正について
議案 4	令和6年度高鍋町国民健康保険特別会計補正予算（第5号）
議案 5	令和6年度高鍋町後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）
議案 6	令和6年度高鍋町介護保険特別会計補正予算（第4号）
議案 7	高鍋町一般職の職員の給与に関する条例の一部改正について
議案 8	地方公務員法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の一部改正について
議案 9	職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正について
議案 10	職員の勤務時間及び休日休暇に関する条例の一部改正について
議案 11	高鍋町行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用に関する条例の一部改正について
議案 12	高鍋町職員の育児休業等に関する条例の一部改正について
議案 13	高鍋町地域型保育事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について
議案 14	高鍋町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について
議案 15	高鍋町水道事業給水条例の一部改正について
議案 16	高鍋町下水道条例の一部改正について
議案 17	刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について
議案 19	令和7年度高鍋町国民健康保険特別会計予算
議案 20	令和7年度高鍋町後期高齢者医療特別会計予算
議案 21	令和7年度高鍋町介護認定審査会特別会計予算
議案 22	令和7年度高鍋町介護保険特別会計予算
議案 23	令和7年度高鍋町一ツ瀬川雑用水管理事業特別会計予算
議案 24	令和7年度西都児湯固定資産評価審査委員会特別会計予算
議案 25	令和7年度高鍋町水道事業会計予算
議案 26	令和7年度高鍋町下水道事業会計予算
同意 1	副町長の選任について
同意 2	固定資産評価員の選任について

2025

高鍋駅

We are pleased to inform you that
Takanabe Station is finally completed!

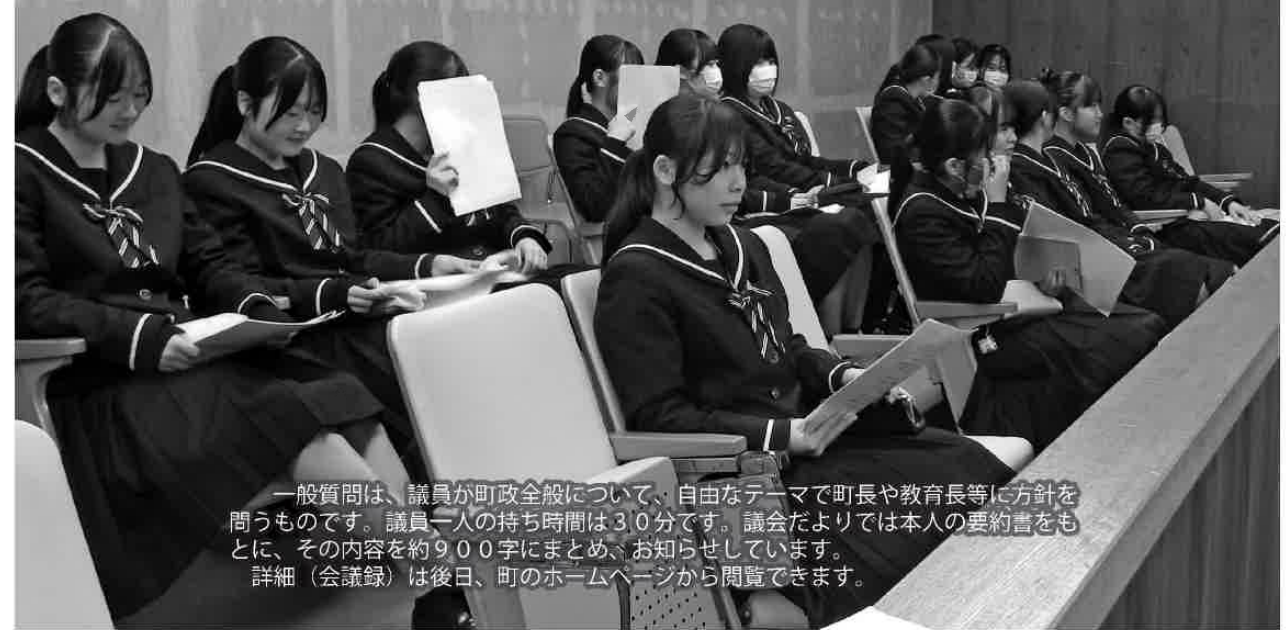
ついに完成しました。

自由なピアノ演奏スペース
(利用時間 10時30分～12時30分 14時～18時)

開放的な多目的スペース

あなたの声を町政に 一般質問

9人が登壇



一般質問は、議員が町政全般について、自由なテーマで町長や教育長等に方針を問うものです。議員一人の持ち時間は30分です。議会日よりでは本人の要約書をもとに、その内容を約900字にまとめ、お知らせしています。詳細（会議録）は後日、町のホームページから閲覧できます。

議会傍聴アンケート

第1回定例会に、傍聴にいられた方にアンケートをお願いしました。

- ◆これまで議会を傍聴されたことがありますか。
初めて……………(1) 2回目……………(0)
ときどき行く……………(5) よく行く……………(5)
- ◆議会の開催をどのようにお知りになりましたか。
一般質問のお知らせ……………(7) ホームページ……………(3)
新聞……………(1) 議員から……………(2)
LINE……………(2) その他……………(0)
- ◆議会傍聴の目的・理由について。
議会に関心がある……………(7)
町政に関心がある……………(7)
議案や質問内容に関心がある……………(4)
議員に誘われた……………(0)
各種団体や知人に誘われた……………(0)
その他……………(0)
- ◆議員の発言内容はよくわかりましたか。
よくわかった……………(4)
おおむねわかった……………(5)
全くわからなかった……………(0)
- ◆答弁者(町長・職員等)の発言内容はよくわかりましたか。
よくわかった……………(2)
おおむねわかった……………(4)
全くわからなかった……………(1)
- ◆今回、傍聴されてお気づきの点がございましたら、ご記入下さい。(一部抜粋)
・知らない法や規定、町の取り組み状況等知れてよかった。
・質問、答弁を整理してほしい。(同じ内容の堂々巡り)
・議員も答弁者も期待できない。これで町議会、町政に対する期待と高鍋町をよしくして行こうという気力がわいてこない。

高校生傍聴アンケート(26名)

- 今回参加したことについてどう思いますか。
とても良かった……………(7) 良かった……………(16)
どちらでもない……………(3)
- これからも議会の傍聴をしてみたいと思いますか。
ぜひまたしてみたい……………(0) 機会があったらしてみたい……………(21)
どちらともいえない……………(2) してみたいとは思わない……………(3)
- 議会を傍聴して、町議会議員と町長・町職員とのやり取りはわかりやすかったですか。
非常にわかりやすかった……………(3) わかりやすかった……………(15)
どちらともいえない……………(1) わかりにくかった……………(7)
- 町政や町議会への関心や理解は深まりましたか。
とても深まった……………(2) 深まった……………(18)
どちらでもない……………(6) あまり深まらなかった……………(0)
深まらなかった……………(0)
- 議員になって高鍋町のために何かしたいと思いますか。
ぜひ議員になって何かをしたいとおもった……………(0)
議員になってみたいと思った……………(2) なりたいとは思わない……………(19)
絶対なりたくない……………(0) 分からない……………(5)
- 18歳になったら選挙に行こうと思いますか。
ぜひ行きたい……………(11) 行ってみたいと思う……………(13)
わからない……………(2) 行きたくない……………(0)
- 感想
・話が難しかったので理解しにくかったけど、高鍋がどんな風にかわるのか気になりました。今抱えている問題、議会の皆さんが真剣に話しているのを聞いて貴重な体験ができました。
・めっちゃまじめに怖い感じかなと思ったけど、思ってたより話しやすそうだったし、一つの意見に対して、分かりやすく、かつどのようにするのかなど言っていて傍聴してよかったなと思いました。
・自分の考えや意見を持つことは大切なことだと思った。また、相手の意見を聞き、それを尊重することはこれからの社会で役に立つことだと理解した。

高鍋町の財政状況・企業誘致を町長に問う



まつおか のぶひろ
松岡 信博 議員

- 問 企業誘致の投資金額は、30億円を超える。しかし、高鍋町の税収は上がっていないが。
答 近年の企業誘致により、一定の税収確保はできる。
- 問 高鍋町は、地方交付税の交付団体。町長が言うキヤノンが1億6千万円の納税をしても、地方交付税75%の1億2千万円が減額され、残り4千万円しか留保財源にはならない。企業誘致で投資した30億円を取り戻すには75年もかかるが。
答 地方自治体も固定資産税が上がれば国に戻すことは、当たり前の税制と受け止める。
- 意見 国に納めて、町には残らない。
問 借金返済額は令和7年度が7億8千万円で3年間続く。今後、公共施設の老朽化による改修工事業業は多い。事実、勤労者体育館は財政難のため、閉館が余儀なくされる。この状況では竹鳩橋建設は高鍋町の財政を逼迫させるが。
答 健全な財政運営が保たれていると判断している。
- 意見 キヤノン誘致の借金返済が終わらないのに、竹鳩橋建設は無謀。町長の認識
問 借金の甘さが高鍋町の財政状況を表している。町民の税金に「たかる」政策は止めてほしい。
問 竹鳩橋建設を行えば、高齢者の生活支援や子どもたちの教育、子育て支援に影響があるのでは。
答 財政運営は一定の健全性を保っているものと認識。
- 意見 町長は12月議会で、福祉や教育は国が保障すると言われた。行政自治体として国から任された町民の生活を保障する責任を放棄するような発言はいい加減で無責任。考えを改めるべき。
問 公民館や町民から要望のある道路改修工事がまだ100件ある。竹鳩橋建設より町民の生活環境の改善を優先すべきだが。
答 目先のことだけにとらわれては地域の活性化は行われない。一般的な常識であり、誰もが考えること。
- 問 財政状況の指数が現実を物語っている。これ以上財政状況を悪化させる竹鳩橋建設で10億円を投資する余裕などはない。それでも建設計画を実行するつもりか。
答 竹鳩橋建設は、基本的に町をよくするために大きな成果を生み出す。
- 意見 町長のわがままな政策は、町民の犠牲の上にある。企業誘致は政治公約やイメージを高めるため税金が使われた。竹鳩橋建設でも大きな財政投資をする間違いを繰り返さないようお願いする。

地域食堂などの活動に関する
現状と今後の取り組みについて



かとう ひでふみ
加藤 秀文 議員

問 地域食堂の評価を町は確認されているのか。

答 地域食堂は地域の誰もが食を通じて集まることの出来るコミュニティの一つであり、有効な取組である。

問 どんな有益性があると考えているのか。

答 地域における賑わい創出の他、子どもの貧困対策や孤食対策、一人暮らし高齢者の孤立対策や見守り支援など、と考えている。

意見 この地域食堂を定期的に実施することは災害時の実践訓練を行っているのと同じだ。チームワーク良く米を炊き、食材を切り、煮込む、焼く、配膳するなどの行程がスムーズに行われる。この地域食堂を実施することは新しい形での自治公民館の在り方がここにあると考える。その際、高鍋町には、危機管理課があることから、開催日に簡単な防災講習会を実施し、危機管理の重要性を意識付けすることに出来るのではないかと。

◆中小学校の感染症対策について

問 集団感染症に有効な対策は考えているのか。

答 手洗い、うがいの徹底や定期的な換気、マスクの着用。

問 有効な対策として、空気清浄機などの設置は考えていないのか。現在其稼働世帯が殆どで、ひとり親家庭もあり、事情は様々。そこで、小中学校に病院等でも導入されている高性能な空気清浄機を各教室に導入できないものか。

答 本町の小中学校は校舎の老朽化に伴う学校施設全体の改修計画もあることから、教室の附帯設備として検討する。

◆蚊口浜の天然ガキと禁漁区について

問 カキの漁獲量を増やす対策は考えていないのか。

答 海が荒れる度に海中の砂の状況も変わっているのではないかとすると、中々対策が厳しいと考える。

提案 アメリカで開発されたコンクリート製の漁礁リーフボールは世界75ヶ国以上で水産資源再生の救世主となつてい

る。国内では、長崎県の瀬朝日テックが実証実験を始めカキや海藻類、魚などの生育にも良い成果を上げている。高鍋町の天然資源を守るためには早急な対策が必要。

問 一般の方が潮干狩りを楽しめるよう出来ないのか。何か対策はないのか。

答 法律の規定のため対策を講じるのは難しい。

要望 地元の方には昔から伝統的に行われてきた風物詩、関係機関に交渉して頂きたい。

農畜産業が豊かになってこそ町は元気になる



もりさき ひであき
森崎 英明 議員

◆高鍋町の農業政策等について

問 担い手の減少、高齢化など、深刻さが増しており、本町の農業政策は、

答 農業を取り巻く現状は、担い手不足、資材高騰による経営圧迫、天候不順など厳しい環境にあると認識している。本町の実情を踏まえ高鍋町総合計画を指針とし、施政方針に掲げる農畜産業支援を進めたい。

問 農業の跡取り後継者支援について

答 親元就農者については、国も支援策を計画している。本町においても、県・JA等と連携し、就農支援を行い今後事業を有効活用し、スムーズな承継に取り組んでいきたい。

鳥獣被害対策強化について

答 野生鳥獣被害防止対策事業により、電気柵及びテープの設置を助成する事業を行っている。また、捕獲支援事業による捕獲について、予算計上している。

◆大規模災害について

問 激甚災害指定について

答 災害発生後、国交省や農水省など、災害復旧事業所管省庁の定める要綱等に基づき、各市町村等から所管省庁に対し被害額が報告され、その被害額の情報を所管省庁が内閣府に報告することで、内閣府において激甚災害指定基準と比較し該当する場合適用される。

問 大規模災害に対する予算の編成について

答 大規模災害が発生した際には復旧・復興関連予算を最優先に措置しなければならぬことから、一時的に多額の一般財源が必要となる。このため、予備費の活用や事務事業の中止、延期及び規模縮小等により、財源を確保するとともに財政調整基金をはじめとした基金を繰り入れることとなる。

◆中学校の部活動の今後について

問 中学校部活動地域移行について

答 部活動を学校単位から地域単位の取組にすることを段階的に目指しており現在本町は、地域連携による取り組みを進めており、合同部活動の導入や、指導員等を活用した指導に取り組んでいる。子どもたちのスポーツの機会が確保できるように努めたい。



町内道路整備は道路台帳で管理



なかむら すみこ
中村 末子 議員

問 道路整備の事業費は確保されているのか。

答 通学路、避難道路を優先、補助事業を活用しながら事業を行なっている。

問 非常時における道路の把握はできているのか。

答 災害時に通行できない道路についての把握はできていない。

問 高齢化に伴い、側溝清掃が難しくなっている。計画はあるのか。

答 個別計画に基づき改修工事を行っている。

問 水道管及び下水管の耐震化、劣化状況はどうなっているのか。

答 上水道は毎年度漏水調査を委託、早期発見修理により大規模事故に対応している。耐震化率は200ミリ管路で44・8%である。

下水道については、マンホールポンプ設置の管路については毎年点検を行っている。

◆学びの拠点整備は

問 現在、長寿命化を基に少子化問題を考え学校だけでなく文化環境の整備についての考え方はどうか。

答 教育環境については、ただ単に老朽化した校舎を改修するだけでなく、児童生徒数減少推移を予測しながら整備計画を策定したい。

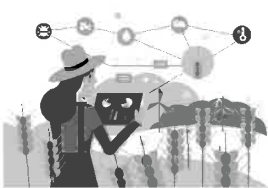
文化環境については、特に「たかしんホール」の老朽化が著しく、いろんな方々の意見を伺い整備計画を策定したい。

◆AIを利用した農業は

問 農業の継承はどうなっているのか。

答 農地利用についての継承については、農地法に基づき継承を行っている。農業者以外のいわゆる相続において農地の取得をされた方については、死亡届において農地がある場合は意向を聞きながら対応している。

耕作放棄地と思われる農地に関しては順次農業委員、農地利用最適化推進委員が見守り状況を把握、アンケートを送付し、有効利用につなげている。また、AIいわゆるスマート農業は期待される分野である。本町でもハウスに設置した各種センサーによる環境整備を行っている。



地震における避難対応は



はし しげふみ
橋 重文 議員

問 どの時点で指定避難所を開設するのか。

答 今回の地震でいうと、津波注意報が津波警報に変わった場合や、地震によるけがの発生や住家の被害などが報告され、指定避難所を必要とする方が発生していると判断された場合。

問 津波避難ビルに避難する場合、避難者の受け入れを拒むことはあるのか。

答 災害時、受入れを拒むことはないと考えている。

問 高鍋町総合スポーツセンター駐車場に避難された方もいたが、常時トイレを使用できるようにならないか。

答 テニス管理棟北側に、外からの施錠のされていないバリアフリートイレが1つあり、避難時に使用できる。

意見 住民に周知できるよう早急に対応を要望する。

問 中央公民館等にあつては和式のトイレは使い勝手が悪いので変更をとの声も聞かれるが。

答 予算の関係もあり全て対応できるから分らないが、施設を管理している部署につなげていきたい。

問 誘致企業でもあるキャノン等を指定緊急避難場所として指定することは出来るのか。

危機管理について



こだま ひでと
児玉 秀人 議員

問 危機管理課ができて一年になるが、成果と課題は。

答 成果は、災害に対して真剣に取り組んでいく町の姿勢を示すことができた。職員を増員を図り、災害時の対応力が向上した。課題は、要支援者の個別計画、公民館単位での地域計画の策定。災害連携協定、避難所の備えの強化、町民の防災への理解推進。

問 1月13日の地震の津波注意報についての課題は。

答 津波注意報が地震発生から10分後に発表され、その時点で津波が到達中と推測されたこと。

問 震度5以上の地震は、気象庁の情報を待たずに、町のメール配信で津波避難を呼びかける内容に変えることはできないか。

答 Jアラートの内容と防災行政無線と同時に配信するため、町独自で内容の変更はできない。避難が必要な時は、避難指示がなくても避難するなど、各自で判断し、落ち着いて行動していただきたい。

問 公共の場において、以前よりも避難の仕方のアナウンスが少ないと感じているが、町の行事や学校の行事等での呼びかけは、常に行われているのか。

答 町の行事では避難行動についてのアナウンスをあまり行っていないので、必要に応じて行う。学校の行事等においては、注意喚起を行っている。

問 地震発生時、火災を防ぐことができる感震ブレイカーの購入補助はできないか。

答 国や近隣自治体の普及に関する情報を注視していく。

◆教育費の補助について

問 中学校給食無償化の課題は。

答 年間約3500万円の予算を要し、予算の確保が課題。物価高騰により給食費も上昇傾向にあり、今後、予算の確保が厳しい状況も出てくる場合があると考える。

問 学校で使う副教材費の補助はできないか。

答 副教材費を無償化した場合、年間約3200万円必要になるので無償化は考えていない。

問 町内の遠距離通学の児童生徒に補助金が出ているが、特別支援学校に通っている児童生徒への通学補助はできないか。

答 町での補助は考えていないが、今後、県内自治体の状況等を注視していく。



肉用牛の受精卵移植に対する支援は



ひだか まさひろ
日高 正則 議員

問 町長の受精卵牛子牛出荷に対する認識は。

答 受精卵移植による子牛生産は、雌牛、雄牛、両方の優れた遺伝的形質を持つ子牛を生産することができるため、子牛がより高い価格で取引される傾向がある。優れた肉質等の資質を持つ子牛を生産できることにより畜産農家の所得向上が図れる技術であると認識している。

問 令和5年度、令和6年度の児湯郡市畜連子牛出荷頭数及び販売価格は。

答 令和5年度は、出荷頭数7268頭、平均販売価格55万8852円、令和6年度は、出荷頭数7258頭、平均価格53万7669円となっている。

問 令和5年度、令和6年度の受精卵牛子牛出荷頭数及び販売価格は。

答 令和5年度は、出荷頭数660頭、平均販売価格63万2485円、令和6年度は、出荷頭数711頭、平均販売価格60万2528円。

問 児湯郡市管内の令和3年度、令和4年度の受精卵移植頭数は。

答 令和3年度は、2331頭、令和4年度は、2751頭。

問 今後、受精卵移植に対する支援は、積極的に検討していく。

◆65歳以上の運転免許証の返納者に対する支援は

問 町長の運転免許証の返納者に対する認識は。

答 駅舎の改修や鉄道のダイヤ改正とJRへの要請活動、デマンドタクシー、路線バスの運行など、公共交通機関の維持改善を通じて、高齢者の方々が安心して暮らせるまちづくりに努めている。

問 過去3年間の運転免許証返納者数は。

答 令和4年度が65人、令和5年度が65人、令和6年度が70人。

問 令和6年12月末時点の運転免許証保有者数は。

答 1万3727人。

問 令和元年から令和6年12月末時点の運転免許証返納者数は。

答 412人。

問 運転免許証返納者に対する支援は。

答 現在、運転免許証返納者に対する支援などについて独自の支援は行っていない。しかし、高齢者など交通手段が限られる方々が、多様な移動手段で暮らせるための施策の展開に努めている。今後公共交通機関の利用拡大に繋がり、安心して免許の返納頂けるような支援が可能であるか、検討していく。



受卵牛子牛の児湯郡市子牛セリ市状況

高齢者や障がい者に対して、地域行政の取り組みは



かしはら とみこ
榎原 富子 議員

問 介護保険対象外の元気な高齢者や障がい者に対して、誰一人取り残さないための地域行政の取組についてどう考えているのか。

答 高鍋町では、介護保険対象外の高齢者や障がい者への安否確認として、福祉課や基幹相談支援センターを通じてサービス提供を行い、定期的に安否確認を実施。サービスに結びつかない場合は、基幹職員が訪問するなど、個別対応をしている。また、民生委員・児童委員が独居高齢者を見守り、歳末助け合い慰問なども行っている。

問 災害時避難所は指定場所やゾーンなどの計画は盛り込んであるのか。

答 現在、高鍋町の指定避難所では、開設時に高齢者のためのゾーンなどは設けてないが、避難者のニーズに応じて職員が調整し、トイレ近くや職員の近くなど、安全で快適な場所を提供するよう努めている。

問 携帯電話の公式LINEや緊急メールの普及率を上げていくことについてどう考えているのか。



施政方針と今後の大型事業の財源確保について



もり ひろふみ
森 弘道 議員

問 施政方針で「農畜産業が豊かになってこそ商工業は潤い、まちは元気になる」と述べられてきたが、農業費は増えず、決算額の構成比も下がっている。なぜ農業費は増えないのか聞いて欲しいと農家の声も多い。町長は決算を見て、町は元気がなったと感じているのか。また、隣町川南町では、町民の声を軽んじて町政が進められた結果、町民の意見を聞く機会を充実するために、町民に対してこれからの4年間をどう向き合おうとされているのか。

答 内容を精査せず、決算額のみで判断するべきではない。農業予算には農業振興に必要な経費を毎年度精査し計上している。農産物のブランド化を図り、オーガニックビレッジ宣言の町としての機運醸成に努め、地域全体に経済効果の好循環を起こすことを目指していく。また、町民の皆様に対する説明責任は果たしていると考えている。

問 将来人口、運転免許証取得者の減少が進む中、竹嶋橋を架け替える場合に設計内容の見直しはできないのか。

答 現在の道路構造決定は、地域特性や交通特性等を考慮し、必要な道路の機能を明確化し、地域に適した道路構造の決定を行うようになっており、必要以上に大きな橋にならない予定。

問 今年度は人件費が大きく伸び、今春闘の回答から次年度以降も人件費は伸びることが予想される。財源的なところはどうか。

答 例年、人件費など義務的経費が伸び、予算編成に大変苦慮している。ふるさと納税の繰入金額が大きく占めている。

問 竹嶋橋架替事業の補助金は、一般財源で手当てすることが条件で、いかに財政調整基金を工面できるかが課題と思うが、財源確保の計画とか考えているのか。

答 財政調整基金を今後5年間で幾らに増やすという計画は無いが、少なくとも現在の基金残高を維持し、少しでも上積みできる財政運営を考えていかねばならない。

要望 竹嶋橋架け替えなど大型事業を進める場合には、町長の説明会、町民の意見を聞く機会を是非ともつくっていただきたい。